



謹啓 毎度格別のご最頁に預り厚く
お礼申し上げます。

本通信は、皆様のご意見を頂いて私
の人生修行の糧といたしたたく、ひと月
に一度お届けしています。どうぞ、忌
憚の無いご意見をお寄せくださいませ
ようお願い申し上げます。 謹白。

一 神の試練

米国のサブプライムローンに端を發
した全世界的金融破綻は、人々の予想
を遙かに上回る速さで地球上の経済に
影響を及ぼしています。新聞雑誌・テ
レビジオ・講演会研修会、何処へ行
っても経済不況の話ばかりです。来年
は経済大恐慌の嵐が吹き荒れるでし
ょう。一部の人々を除きほとんどの人が
その嵐に巻き込まれ、あたかも荒れ狂
う海の中の船の様に、航行はままなら
ず波に翻弄され、沈み行く船は数多く
あることでしょう。

私どもも会社を船に譬え「皆さん全
員、船の漕ぎ手になってください。お
客さん面して何もしない人、仕事をし
ているように振舞っているが実は何の
役にも立っていない人（これが各企業
に非常に多数いる）は直ぐこの沖商店
という船を降りて下さい」と言ってい
ます。全員命がけで船を漕ぐ、それ
でも沈まないという保証はありません。

ひと度波を被ればたちまち沈没です。

そして、この経済大恐慌の嵐が二
三年吹き荒れた後、ようやく落ち着い
た海面に漂う船は、何隻あるでしょう
か。沖商店はその中にあるでしょうか。
「神のみぞ知る」、私は、この度の経済
大恐慌は、神の試練であると考えます。
今こそ心の底からの深い祈りを捧げる
時であります。と言って手をこまねい
て「神頼み」をするではありません。

心に深く神仏をいただき、安定した
精神を以って、眼前の曲事に左右され
ることなく、決断は冷静沈着に熟慮を
重ね、情に流されず事を進めて行く
と言うことです。降りかかる難事は、そ
れを乗り越えようとする努力により自
分を成長させてくれ、そのために神が
自分に与えた試練だと考えるのです。
平時はどの木も青々と葉を茂らせて
います。「寒くなりて初めて松柏の枯
るに遅るるを知る」です。

ですからこの度の経済大恐慌の嵐に
対しては、たとえ吾が船が沈没の憂き
目に遭おうと、後悔しないほどの努力
をしなければならぬと、改めてその
覚悟を心に決している次第です。

「人事を尽くして天命を待つ」
「神様、私を挫けさせないでください」
「仏様、私を怠けさせないでください」

「富山方言番付」

東の前頭「あたる」

意味① 貰える

「行ったもん全員にあたさんがいと」
「行った者全員が貰えるんですって」。
「おわだけ、なんあたらんだ」 〓 「私
だけ貰えませんでした」。

意味② 触る

「そつ、危ないさかいあたられんや」
〓 「それ、危ないですから触らないよ
うに」。「こつ、大事なもんやさかいあ
たられんや」 〓 「これ、大切な物です
から触らないでください」。

西の前頭「おーど」「おーどっばす」

意味 〓 粗雑。粗暴。粗大。大げさ。

(丁寧・繊細ではない)。

「おーどな仕事 〓 粗雑な仕事」

「この機械壊れ易いさかい、おーどに
扱われんや」 〓 「この機械壊れ易いか
ら、粗暴に扱ってはいけません」。「こ
んなやつつけ仕事して、あいつほんま
におーどもんやわい」 〓 「こんなに粗
雑な仕事して、あいつ本当に粗暴者だ
わい」。「あんまおーどっばすなこと
わらんや」 〓 「あまり大げさなことを
言いなさんな」。「おーどな掃除やの」

〓 「粗雑な掃除だな」

次回は 東の前頭「ばっちゃんこく」

西の前頭「ばんばいする」